

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年4月9日		記入者		連絡先	2734
平成18年度部名	経済部		課名	農林課	課長名	宮崎孝司
平成19年度部名	経済部		課名	農林課	課長名	小峰幸夫
事務事業名	当麻地区農道整備工事					
予算上の事務事業名	農道等整備事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	31530		
基本目標	「躍動し 魅力あふれる交流拠点都市」をめざして					
政策名	第1章 立地特性を生かした産業の振興をめざします					
基本施策名	第5節 都市農業の振興					
施策名	第3施策 農地の保全と農業基盤の整備					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
神奈川県土地改良事業補助金交付要綱、農とみどりの整備事業実施要綱						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	当麻地区農道整備工事		事業費	149,210,000円		
			整備延長	L=1,440m		
計画年次	16	年度～	25	年度	農道幅員 W=2.5～4.5m	
4 事業形態の区分			維持・管理・補修	5 事業開始年度		平成16年度
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
農業振興地域の農用地区域内において、農業の生産性の向上、効率的・安定的な農業経営の確立を促進するとともに、維持管理費の削減を図る。					農業者、市民	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
工事延長 L=184.4m 幅員 W=3.1m ・水路工 L=174.3m ・道路工 A=551㎡ ・擁壁工 L=181.3m						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位：千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	5,775	9,870	14,094	14,410	10,500	
一般財源	2,888	4,935	7,047	7,205	5,250	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	2,887	4,935	7,047	7,205	5,250	
人件費の合計	2,421	2,415	2,415	2,415	2,415	
事業コスト合計	8,196	12,285	16,509	16,825	12,915	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	当麻地区農道整備事業			対象名称 と単位	整備延長 m	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	5,775	9,870	14,094	14,410	10,500	
対象数	64	128	184	140	150	
単位あたり経費(円)	90,234	77,109	76,598	102,929	70,000	
前年度比		0.85	0.99	1.34	0.68	

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	整備率	指標式と指標の説明		整備済み延長/整備予定延長	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	64.0	128.0	184.0		
目標	64.0	128.0	184.0	140.0	150.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	整備率	指標式と指標の説明		整備済み延長/整備予定延長	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	64.0	128.0	184.0		
目標	64.0	128.0	184.0	140.0	150.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [ A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない ]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [ A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない ]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [ A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [ 有・無 ]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[            ]	：良好な状態を維持する事業			
	[            ]	：概ね良好な状況である事業			
	[            ]	：見直しを行う必要がある事業			
	[            ]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		農業の生産性の向上、効率的な生産活動のために必要な整備であり、維持管理費の低減に繋がるものである。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
工事コストの縮減に努めるとともに、施設の長寿命化及び維持管理費の低減を図り、トータルコストの縮減を目指す。			特定財源（県費補助）の確保と要整備地区の取捨検討。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			